

住宅・住戸の外皮性能計算プログラム（Ver.3.7.0β）における更新の内容

現行バージョン（Ver.3.6.0）からの変更点は、次の通りです。

●Ver.3.6.0→Ver.3.7.0β（令和6年8月26日）●

<住宅・住戸の外皮性能の計算プログラム Web アプリケーション>

1. 壁等、窓、ドア、熱橋において、日射熱取得率の計算条件と入力項目を整理しました。これに伴い、次の修正を行いました。
 - 「日射の有無」の選択を廃止し、「隣接空間の種類」で外気が選択され、かつ「方位」が下面でない場合のみ、日射熱取得率の計算を行うよう修正しました。
 - 「隣接空間の種類」で外気が選択された場合のみ、「方位」を入力するよう修正しました。また、「隣接空間の種類」で外気が選択され、「方位」で下面以外が選択された場合のみ、日射熱取得率に関する項目を入力するよう修正しました。
2. 熱橋の計算において、「接する部位の名前」を入力して、その部位に紐づく「隣接空間の種類」と「方位」の情報を取得していたプログラムの仕様を、熱橋において選択された「隣接空間の種類」と「方位」から情報を取得するように変更しました。
3. 熱貫流率の計算に用いる建材等のうち、「火山性ガラス質複層板」が「火山性ガラス質複合板」となっていた誤記を修正しました。

<住宅・住戸の外皮性能計算条件入力シート>

4. 壁等、窓、ドア、熱橋の各シートにおいて「日射の有無」を削除し、「隣接空間の種類」と「方位」の配置を入れ替えました。また、「隣接空間の種類」と「方位」に入力方法に関する注釈を追記しました。
5. 熱橋シートについて「接する部位の名前①」・「接する部位の名前②」を削除し、「隣接空間の種類」と「方位①」・「方位②」を追加しました。また、入力方法に関する注釈を追記しました。
6. 計算シートで選択できる素材名の「火山性ガラス質複層板」が「火山性ガラス質複合板」となっていた誤記を修正しました。

以 上

共同住宅等の計算結果集計プログラム（Ver.3.7.0β）における更新の内容

現行バージョン（Ver.3.6.0）からの変更点は、次の通りです。

●Ver.3.6.0→Ver3.7.0β（令和6年8月26日）●

1. フロア入力法の廃止に伴い、基本情報の「入力方法」が廃止されました。
2. 共同住宅における増加築部分の評価については住棟評価を行わないため、エネルギー消費性能計算プログラム次期更新版から出力された増改築部分を対象に評価したPDFはアップロード不可とする処理を追加しました。

以上